

待望の
新製品
誕生!

脳卒中運動機能障害者向け
自己他動在宅運動機器

かたらいS

先んずれば麻痺を制する「かたらいS運動」

失われた機能回復には、早期に、繰り返し、多くの筋肉を動かす在宅運動が重要です。

健康な自分の力を利用して麻痺部を動かす。

小さな揺動を繰り返し、大きな揺動域を広げる。

家族の介護負担を軽減。自分で出来るリハ運動です。

受賞

人間工学グッドプラクティス賞 優秀賞

財団法人日本人間工学会より在宅用運動機器として、人間工学の良好実践例として特に優秀と認められました。



**(私と社長が発症者目線で
考案した運動機器です。)**

失われた運動機能を回復する時期は、急性期直後の回復期です。なるべく早く、車椅子から運動を積極的に進めましょう。



私は、医者から廃用手宣告されたけど、健康側の手足を使って失われた機能回復に挑戦。

被験者M.Sさん(昭和12年生)
平成18年8月脳梗塞発症(左半身全麻痺)「かたらいS」を使ってリハ運動を繰り返し、現在ボランティアリーダーとして地域活動できるまでに回復。さらに、麻痺した左手で物の保持固定に挑戦中です。



自己他動運動とは?

残された健康な手足の助けを借りて、麻痺した手足を動かす運動です。

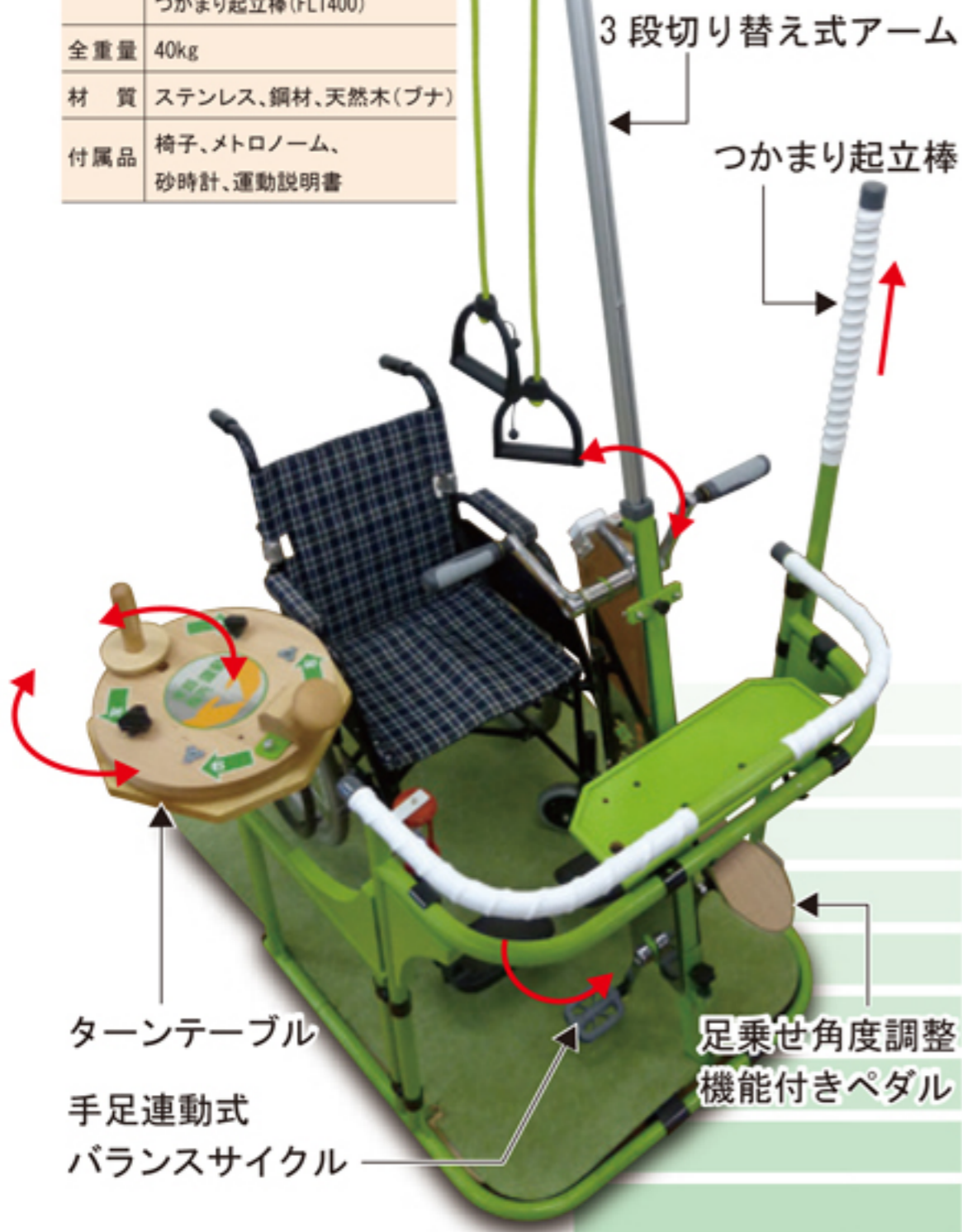


「かたらいS」は、通所リハと次回通院の合間の時間を活用し、在宅で積極的な機能回復運動が出来ます。「かたらいS」は、脳卒中の運動機能障害が発症した、多くの皆様の「失われた機能を奪い返したい」という願いを実現するために、開発された運動機器です。

KFKS-9

品名	自己他動在宅運動機器「かたらいS」
寸法	全長100×全幅90×全高127~198cm つかまり起立棒 (FL1400)
全重量	40kg
材質	ステンレス、鋼材、天然木(ブナ)
付属品	椅子、メトロノーム、砂時計、運動説明書

かたらいSの最大の特徴は、残された健康な自分の力を利用して、麻痺部と、かたらいながら運動を可能にすることです。



ポイント①
かたらいSの自己他動方式

健常側の右手・右足が、麻痺側の左手・左足を連動して動かします。この連動機構により、発症者は、自然歩行動作をすることになります。しかも、車椅子に乗ったまま、健康な自分の力で、麻痺部の感覚に配慮しながら運動が可能になります。



ポイント②
かたらいSの揺動反復運動

写真は、健康な右手のハンドルで、小さな揺動を繰り返し、麻痺部の左足を動かす運動です。はじめは小さな運動幅で動き、徐々に大きな揺動運動に回復していきます。



足乗せ角度調整機能付きペダル
麻痺部の足を乗せやすくする機構です。



ポイント③
かたらいSで
ご家族の負担軽減

ご家族の介護負担を軽減するために、「自分で準備し自分で運動」ができる様に、配慮された運動機器です。



ベッドも工夫次第で運動を実現
ターンテーブルで手首運動が出来ます。細かな手指の動きが改善し、一人で食事が出来るように筋力維持に努めましょう。

車椅子から運動を。一人で出来る自己他動運動の一例をご紹介します。工夫次第で様々な運動が可能です。

①つかまり起立運動



つかまり棒には滑りにくい加工がされています。

②上腕突出し運動



自分では難しい麻痺側上腕伸ばしも徐々に出来るようになります。

③上腕曲げ持上げ運動



麻痺側上腕部持上げは、難しい運動です。

④石臼棒運動



健常側の手を添えて回転させます。

⑤駒握り手首運動



駒を握りテーブルを回転させる事で手首回転運動が出来ます。

●仕様及び外観等は改良のため、予告無く変更する事が有りますのでご了承ください。 ●運動機器のため使用前には、各自の十分な準備をお願いします。
●かたらいSには、車椅子は付属していません。あらかじめご了承ください。

取り扱い店

製造元 有限会社 京和工業
〒411-0932 静岡県駿東郡長泉町南一色550番22
TEL055-988-5959 FAX055-988-5966
URL <http://www.katarai-s.com>
E-mail:kyowaabe@triton.ocn.ne.jp